

# 群飼育におけるボタンインコの繁殖について

西尾志保、萩原慎太郎、佐藤風、戸田文恵、岡本智伸<sup>1</sup>、伊藤秀一<sup>1</sup>  
 福山市立動物園、<sup>1</sup> 東海大学

## 背景

ボタンインコは一般にペットとしてペアで飼育されることが多い

動物園では多数羽の群飼育が主体である

群飼育での繁殖に関する知見は少ない

### 目的

適正な飼育管理を行っていくため

繁殖データとして巣箱内の卵数、破卵数および雛数を調査した



## 調査対象および方法

### 調査対象



福山市立動物園のボタンインコ群で、群サイズは最小で53羽から最大で77羽  
(繁殖などによりグループサイズが変化している)

ケージ・ハイラックス3頭と混合展示されている

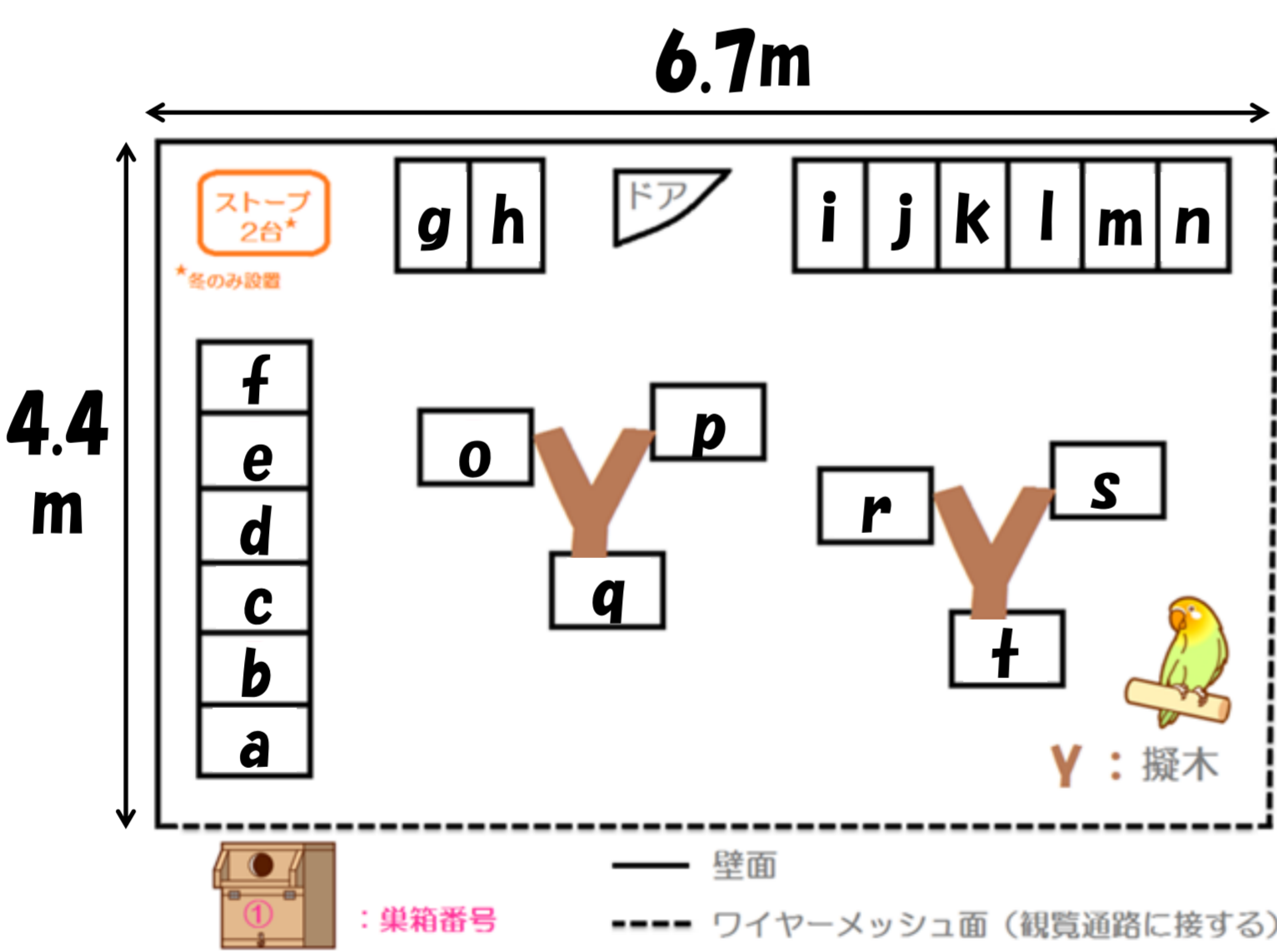
### 繁殖メモ

ボタンインコは一夫一妻で、繁殖期は春と秋  
 ふ化日数は約24日、巣立ち日数はふ化後約40日

### 調査方法



調査は2012年3月～2013年9月までの2週間に1度、20か所の巣箱の蓋をあけて行った  
 記録項目は巣箱別の卵数、破卵数および雛数



今回記録した産卵数の中には前回記録した卵が存在する可能性があり、産卵数を知るため、記録項目より最少産卵数を算出した  
 また卵および雛の消失が確認されたため、最少消失卵数と最少消失雛数も算出した

### 算出方法

最少産卵数 (正の数のみ有効)  
 = 今回の卵数 + 破卵数 - 新規雛数 - 前回の卵数

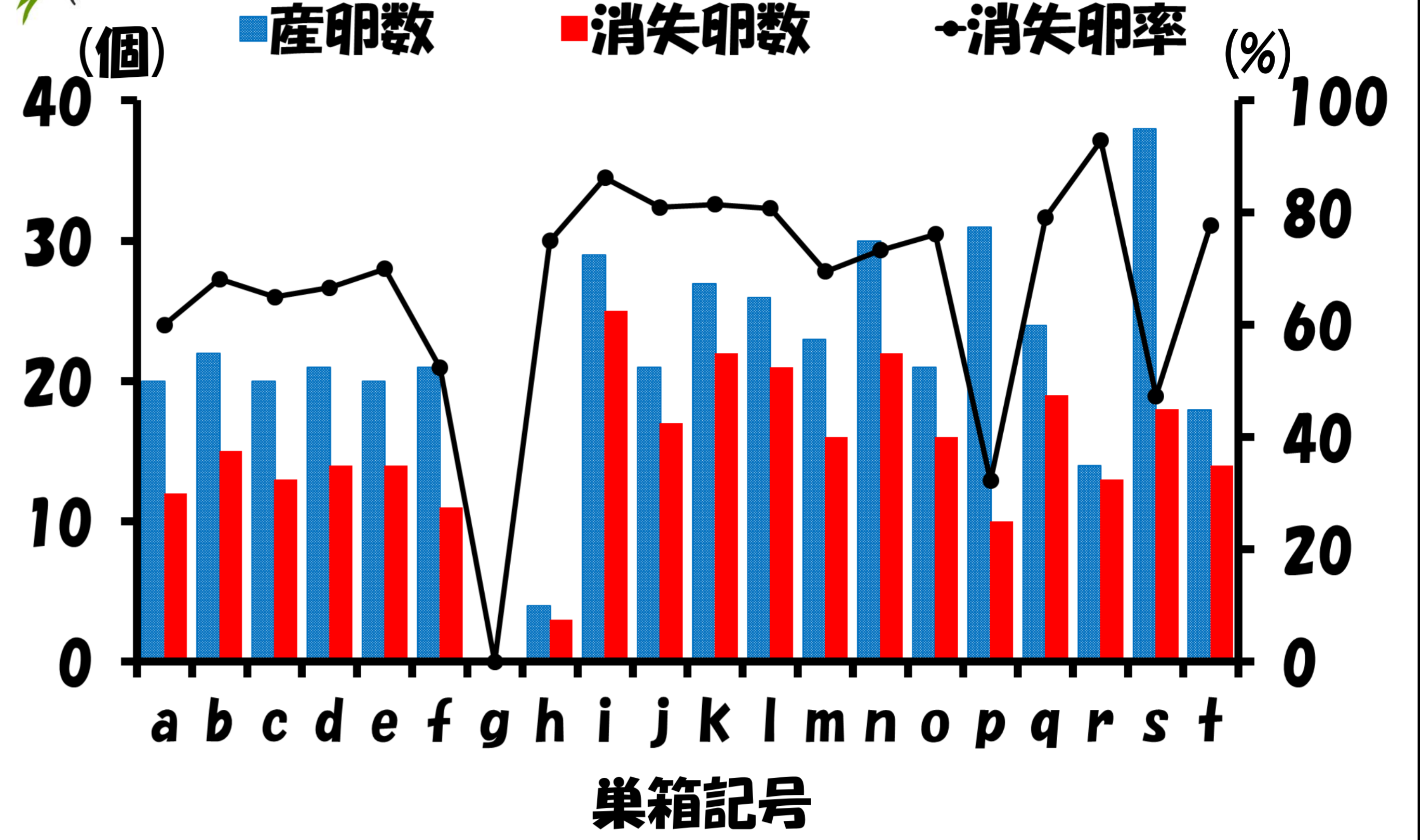
最少消失卵数 (正の数のみ有効)  
 = 前回の卵数 - 今回の卵数 - 破卵数 - 新規雛数

最少消失雛数  
 = ふ化雛数 - 巣立ち雛数

## 結果



### 巣箱別の最少産卵数、最少消失卵数および消失卵率

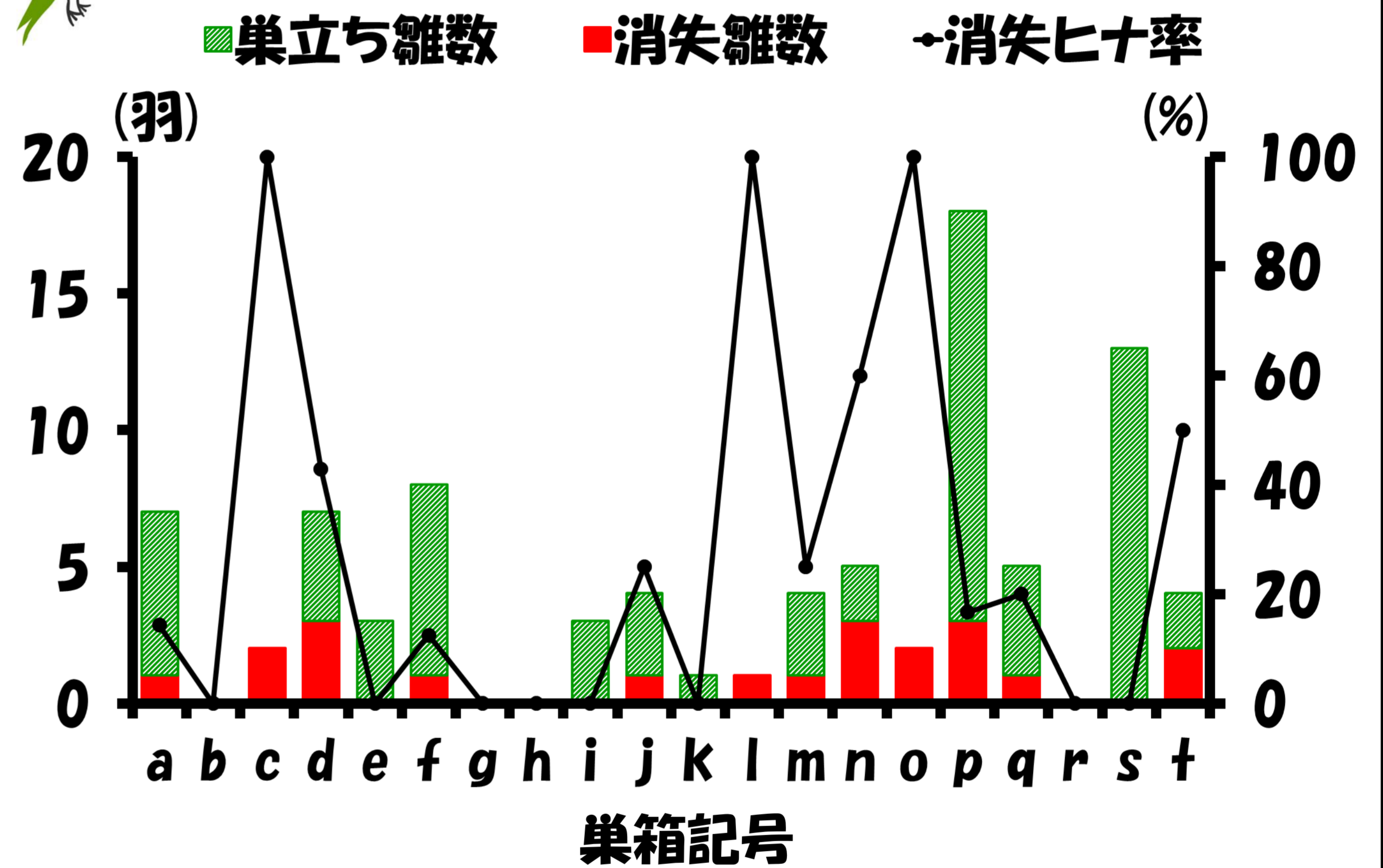


群全体で430個そのうち少なくとも295個が消失

巣箱別産卵数 MAX 38個 MIN 0個  
 gの巣箱は使用した形跡がほとんどなかった  
 巣箱別消失卵数 MAX 25個 MIN 0個



### 巣箱別の巣立ち雛数、消失雛数および消失雛率



群全体で87羽がふ化し、そのうち24%の21羽が巣箱から消失した

## まとめ

・430個産卵を確認し、そのうち最少で295個の卵が消失した

・ふ化した雛の24%が巣立ちすることなく、巣箱から消失した

消失の原因は??

・全く使用されない巣箱(g)やほとんど産卵のない巣箱(h)があった

巣箱数は足りている?  
 or その巣箱を使用したくない??

・産卵数が多く、消失卵率が低い巣箱(p, s)は、消失雛率も低く、巣立ち雛数が多かった

なぜ2つの巣箱だけが他の巣箱に比べて繁殖成績が良いのか??

今後さらに調査・検討が必要である